

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330241041	ICT実践演習 ICT practical exercises	山坂 菜々			2	必修	4前期

科目の概要

学校・保育園等は、授業等でタブレットPCをはじめとする情報端末・デジタル機器を活用している。また令和2年度から実施されている小学校学習指導要領では、プログラミング教育が必修となっている。
本授業では、学校・保育園等での課題に対する理解を深め、教育の情報化について専門的な知識と技能ならびに思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を身につけた教育者・保育者の育成をめざす(DP1,3)。そのため、教育に用いられる情報端末・デジタル機器について、思考を深め個に応じた学習を進めるためのツールとしての活用を学ぶ。これらを基に教材研究ならびに授業設計と、その仕上げとしての模擬授業を通して、情報端末・デジタル機器の効果的な活用ができることをめざす(DP5)。

学修内容	到達目標
① ICTの特徴と操作を学び、授業等での活用を学ぶ。 ② ICTの特徴を生かした指導案を作成する。 ③ 情報活用能力の育成の具体を学ぶ。 ④ ICTの新しい動向（人工知能等）の具体を学ぶ。 ⑤ 校務の情報化を推進するための具体を学ぶ。 ⑥ 教育者・保育者に求められるICT活用指導力の向上をめざす。	① ICTの特徴と操作を知り、実際の授業で活用することができる。 ② 作成した指導案を基に、模擬授業等を行い、実際の授業への応用を考えることができる。 ③ 情報活用能力を、子どもに適切に指導できる。 ④ ICTの新しい動向（人工知能等）の特徴と操作を知り、実際の授業等で活用することができる。 ⑤ 校務の情報化を推進するために具体的な内容を挙げることができる。 ⑥ 教育者・保育者に求められているICT活用指導力の向上をめざす態度を示す。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	ICTの活用に関心を持ち、教育に積極的に生かそうとする。
	働きかけ力	情報活用能力の育成の具体を知り、子どもに適切に指導できる。
	実行力	授業における教材研究を通して、適切な場面でICTを活用することができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの実態把握等をとおして、どのようにICTを活用することが効果的であるかに気づくことができる。
	計画力	ICTを活用するために、適切に機器を準備したり管理したりしながら、授業等に向かうことができる。
	創造力	ICTの活用をとおして、従来のメディアでは難しかった指導方法等を考えることができる。
チームで働く力	発信力	ICTの効果的な活用について、他の学生等との意見交換等を通して、創造的に構築し、実際の指導に活用することができる。
	傾聴力	ICTの効果的な活用について、他の学生や教員の意見や、ネット等で調べた知見を参考にし、クリティカルに判断することができる。
	柔軟性	ICTの効果的な活用について、実際のデータや事例を通して、自らの考えに固執することなく、取捨選択することができる。
	状況把握力	ICTの効果的な活用について、子どもの実態に応じて、適切な指導を選択することができる。
	規律性	予習・復習を継続的に実施し、課題等の提出期限や、他のルールを遵守することができる。
	ストレスコントロール力	ICTの効果的な活用について、グループ学習等を通して、過度なハレーションやマウント等に陥ることなく、適切なコミュニケーションをとることができる。

テキスト及び参考文献

参考文献：文部科学省、教育の情報化に関する手引ー追補版ー、2020
参考文献：文部科学省、小学校プログラミング教育の手引（第三版）、2020
参考文献：梅田恭子、齋藤ひとみ監修、ICT活用指導力アップ！ 教育の情報化 改訂版 教員になるための情報教育入門、実教出版、2025

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：本授業は、学部共通科目「情報リテラシー I・II」を基礎とし、「教職入門」や「教育課程総論」など教育の基礎的理解に関する科目で修得した知識を基盤に、教育現場での具体的・効果的な活用法を学習していく。そして4年後期での「幼小連携」へと繋がっていく。

資格との関連：小学校教諭

学修上の助言	受講生とのルール
授業はICT機器の操作法を覚えるだけでなく、授業を中心にしながら、学校・保育園等で活用できることを目的としている。また小学校では、学習段階で思考を深めるツールとして活用することを目指している。	ICT機器を有効に活用した授業づくりが中心になることを意識し、積極的・探求的な受講態度であること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	70	①	✓	⑥	✓	（獲得）情報端末やデジタル機器に関する基礎知識を習得し、学校・保育園等でICTを活用する意義を理解できる。（40%） （活用）学校・保育園等における現状や課題を踏まえたうえで、ICTの活用方法の具体を述べることができる。（40%） （解決）ICTの活用が、学校・保育園等の教育活動や授業において、どのような発展や効果が得られるのかを述べることができる。（20%）
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓	⑥	✓	（獲得）学校・保育園等園におけるICT活用のための教材研究ならびに教材開発を行うことができる。（40%） （活用）ICTを活用した模擬授業等を実施し、適切に指導を行うことができる。（40%） （解決）他者の教材や指導案、模擬授業等を適切に評価することができる。（20%）
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	（主体性）学校・保育園等におけるICTの活用に積極的な関心を持ち、学校・保育園等での教育に生かそうとする。 （実行力）自ら進んでICTを活用した教材等の開発を行い、実際に授業等で指導しようとする。 （課題発見力）現在の授業においてICTを活用することによって、より発展させることが可能な場面を発見することができる。 （創造力）情報端末やデジタル機器の必要な場面を発見した後、従来の方法に囚われない有効な活用方法を考えることができる。 （発信力）ICTの活用の特徴を理解し、実際の指導に活用することができる。 （傾聴力）ICTの活用について、さまざまな他者からの意見を聴き取ることができる。 （規律性）予習・復習を継続に実施し、課題の提出期限やルールを遵守することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>到達レベルS 情報活用能力を深く理解し、ICT活用指導力および校務の情報化を有効に活用する方法を述べるができる。学習指導要領に示された授業のあり方を深く理解し、ICTの特徴を最大限に生かした模擬授業等を行うことができる。情報端末やデジタル機器を、学校・保育園等で効果的に活用できるだけでなく、適切な操作ならびに管理でき、他者に指導できる。</p> <p>到達レベルA 情報活用能力を理解し、ICT活用指導力および校務の情報化を有効に活用する方法を述べるができる。学習指導要領に示された授業のあり方を理解し、ICTの特徴を生かした模擬授業等を行うことができる。情報端末やデジタル機器を、学校・保育園等での教育活動や授業等で有効に活用するために、適切に操作ならびに管理することができる。</p>	<p>到達レベルB 情報活用能力を概ね理解し、ICT活用指導力や校務の情報化の基本的な活用する方法を述べるができる。学習指導要領に示された授業のあり方を概ね理解し、ICTの特徴を取り入れた模擬授業等ができる。情報端末やデジタル機器を、学校・保育園等での教育活動や授業等で有効に活用するために、基礎的な操作ならびに管理することができる。</p> <p>到達レベルC 情報活用能力を最低限理解し、ICT活用指導力や校務の情報化の基本的な活用する方法をおおよそ述べるができる。学習指導要領に示された授業のあり方を最低限理解し、ICTを取り入れた模擬授業等ができる。情報端末やデジタル機器を、最低限の操作ならびに管理することができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	○オリエンテーション ○学校園における情報端末・デジタル機器の種類や概要を知る	1. 講義：学校園における情報端末・デジタル機器 2. グループワーク：学校園における情報端末・デジタル機器の種類や概要を、インターネットや学内の探索等を通してまとめる(Google Classroom) 3. 復習	・学校におけるさまざまな情報端末・デジタル機器を上げることができる	(予習) 学校園における情報端末・デジタル機器を調べる (復習) 学校園における情報端末・デジタル機器の種類や概要をまとめる	180	主体性 課題発見力 傾聴力
2	○校務の情報化の概要を知る ○校務の情報化について、授業支援ツールを活用し、実習によって体験する	1. 復習と予習の確認 2. 講義：校務の情報化の概要と授業支援ツールの活用 3. 演習：授業支援ツールを用いて、資料の作成やグループでの共同活動を体験する(Google Classroomなど) 4. 復習	・校務の情報化の概要、すなわち目的や必要性等について、簡単に述べるができる	(予習) 校務の情報化について調べる (復習) 校務の情報化が可能な他の事例について調べる	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
3	○情報モラルの概要を知る ○情報モラルの実践に向けて準備する	1. 復習と予習の確認 2. 講義：情報モラルの概要 3. グループワーク：情報モラルの実践に向けて、それぞれニュースを考え、プレゼンテーションソフト等を用いてまとめる(Google Classroom) 4. 復習	・情報モラルの概要を述べるができる ・情報モラルの実践に向けて、まとめを作成できる	(予習) 文科省「情報モラル学習サイト」を見る ニュース人狼とは？ https://youtu.be/hSOF6EfZu7w (復習) 情報モラルの実践に向けたまとめを作成する	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	○情報モラルについて、実践によって理解する ○実践を通して、他の教材への応用等の可能性を検討する	1. 復習と予習の確認 2. グループワーク：ニュースについて発表するとともに、その真偽について検討する 3. 発表：グループで話し合ったことを発表する 4. まとめ：グループワークを通して学んだことを踏まえ、情報モラルのまとめを作成し提出する(Google Classroom) 5. 復習	・情報モラルの実践を行う ・実践についてまとめを作成できる	(予習) 情報モラルの実践に向けたまとめを作成する (復習) 実践のまとめを振り返り、応用の可能性を具体的に検討する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
5	○ICTを活用した授業を設計する ○指導案や授業について、基本的なことを振り返る	1. 復習と予習の確認 2. 講義：ICTを活用した授業等の具体例について 3. 演習：ICTを活用した授業や教材について調べ、検討する 4. グループワーク：ICTを活用した授業や教材について、グループで共有する 5. まとめ：ICTを活用した授業や教材についてまとめ、模擬授業の計画を立てる(Google Classroom) 6. 復習	・ICTを活用した授業を検討し、模擬授業の計画を簡単に述べるができる	(予習) 情報端末やデジタル機器が、授業等で活用されている場面を調べる (復習) 模擬授業の計画を検討する	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
6	○オンデマンド授業 ○人工知能等の新しい動向を知る ○人工知能等の新しい動向について、実践によって体験する ○実践を通して、他の教材への応用等の可能性を検討する	1. 講義：動画を視聴し、人工知能等の新しい動向について知る 2. 演習：人工知能等で文章を作成し、学生自身が作成した文章との違いについて検討する 3. まとめ：人工知能等で作成した文章の特徴についてまとめる 4. 復習	・人工知能等を用いて、文章を書くことによって、ICTの新しい動向を理解できる ・人工知能で書いた文章の特徴等を述べるができる	(予習) 人工知能等を用いて文章を作成する (復習) 人工知能等を活用した授業について調べる	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 ストレスコントロール力
7	○産学官連携から考える地域再生 ○“学”によるワークショップの企画と提案	1. 復習と予習の確認 2. 講義：地域連携の具体例 3. ワークショップ：VTuber体験 4. まとめ：産学官連携から考える地域再生(Google Classroom) 5. 復習	・産学官連携についての意見を述べるができる ・地域連携への企画やアイデアを出すことができる	(予習) 地域との連携の具体例について調べる (復習) 地域と連携した授業について調べる	180	主体性 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 ストレスコントロール力
8	○人工知能等の新しい動向を知る ○人工知能等の新しい動向について、実習によって体験する	1. 復習と予習の確認 2. 講義：人工知能等の新しい動向について知る 3. グループワーク：人工知能等で作成した画像をグループで共有する 4. まとめ：人工知能等で作成した画像の特徴についてまとめる 5. 復習	・人工知能等の新しい動向について簡単に述べるができる ・人工知能等で作成した画像の特徴を述べることができる	(予習) 人工知能等を用いて画像を作成する (復習) 人工知能等を活用した授業について調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	○人工知能等の新しい動向を理解する ○人工知能等の新しい動向について、実践によって体験する ○実践を通して、他の教材への応用等の可能性を検討する	1. 復習と予習の確認 2. グループワーク：人工知能等で作成した画像を、他者と共有することで、表現の変化や意図の伝達について考察する 3. 発表：グループで話し合ったことを発表する 4. まとめ：グループワークを通して学んだことを踏まえ、人工知能等新しい動向のまとめを作成し提出する (Google Classroom) 5. 復習	・人工知能等の新しい動向についての実践を行う ・実践についてまとめを作成できる	(予習) 人工知能等を活用した授業について調べる (復習) 実践のまとめを振り返り、応用の可能性を具体的に検討する	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	○ICTを活用した教材を検討する ○ICT機器や学習指導要領、デジタル教科書等を参照しながら、教材を作成する	1. 復習と予習の確認 2. 講義：ICTを活用した教材について 演習：ICTを活用した教材を作成する 3. グループワーク：作成した教材を共有し、相互評価を行う (Google Classroom) 4. 復習	・学習指導要領やデジタル教科書等を読む ・ICTを活用した教材が作成できる	(予習) 本授業を振り返る (復習) 作成した教材を検討する	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
11	○ICTを活用した教材を用いて、模擬授業の計画を立てる ○ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う	1. 復習と予習の確認 2. 講義：授業の計画と評価の視点について 3. 演習：ICTを活用した教材を用いて、模擬授業の準備を進める 4. グループワーク：ICTを活用した模擬授業について共有し、相互評価を行う (Google Classroom) 5. 復習	・ICTを活用した模擬授業の計画が作成できる	(予習) CT活用指導力チェックリストを読む (復習) 模擬授業の計画と作成した教材を確認し、予行する	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
12	○ICTを活用した教材と授業計画を用いて、模擬授業を行う ○ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う	1. 復習と予習の確認 2. グループワーク：ICTを活用したより良い模擬授業を行う、模擬授業を相互評価を行う 3. 復習 4. グループワーク：ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う (Google Classroom) 5. 発表 6. 復習	・ICTを活用したより良い模擬授業を行う、また模擬授業を相互評価を行う	(予習) 模擬授業を通して、自分や他者に対してもICTを活用したより良い授業を追求していく姿勢をもつ (復習) ICTを活用した模擬授業をより良いものに改善する、他者の評価を見て課題を明らかにする	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
13	○ICTを活用した教材と授業計画を用いて、模擬授業を行う ○ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う	1. 復習と予習の確認 2. グループワーク：ICTを活用したより良い模擬授業を行う、模擬授業を相互評価を行う 3. 復習 4. グループワーク：ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う (Google Classroom) 5. 発表 6. 復習	・ICTを活用したより良い模擬授業を行う、また模擬授業を相互評価を行う	(予習) 模擬授業を通して、自分や他者に対してもICTを活用したより良い授業を追求していく姿勢をもつ (復習) ICTを活用した模擬授業をより良いものに改善する、他者の評価を見て課題を明らかにする	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
14	○ICTを活用した教材と授業計画を用いて、模擬授業を行う ○ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う	1. 復習と予習の確認 2. グループワーク：ICTを活用したより良い模擬授業を行う、模擬授業を相互評価を行う 3. 復習 4. グループワーク：ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う (Google Classroom) 5. 発表 6. 復習	・ICTを活用したより良い模擬授業を行う、また模擬授業を相互評価を行う	(予習) 模擬授業を通して、自分や他者に対してもICTを活用したより良い授業を追求していく姿勢をもつ (復習) ICTを活用した模擬授業をより良いものに改善する、他者の評価を見て課題を明らかにする	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
15	○ICTを活用した教材と授業計画を用いて、模擬授業を行う ○ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う	1. 復習と予習の確認 2. グループワーク：ICTを活用したより良い模擬授業を行う、模擬授業を相互評価を行う 3. 復習 4. グループワーク：ICTを活用した模擬授業について、相互評価を行う (Google Classroom) 5. 発表 6. 復習	・ICTを活用したより良い模擬授業を行う、また模擬授業を相互評価を行う	(予習) 模擬授業を通して、自分や他者に対してもICTを活用したより良い授業を追求していく姿勢をもつ (復習) ICTを活用した模擬授業をより良いものに改善する、他者の評価を見て課題を明らかにする	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力